

2025年5月15日

上場会社名	メディアエア株式会社		上場取引所	東
コード番号	199A	URL	https://www.mediaair.net/	
代表者	(役職名)	代表取締役社長	(氏名)	二木信行
問合せ先責任者	(役職名)	取締役管理部責任者	(氏名)	若杉直希
中間発行者情報提出予定日	2025年6月30日		配当支払開始予定日	-
中間決算補足説明資料作成の有無	：無			
中間決算説明会開催の有無	：無			

(百万円未満切り捨て)

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	235	△3.3	0	△99.3	3	△87.1	1	△90.6
2024年9月期中間期	243	-	22	-	23	-	15	-

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
2025年9月期中間期	円 銭 2.14	円 銭 -
2024年9月期中間期	22.83	-

(参考) 持分法投資損益	2025年9月期中間	-百万円	2024年9月期中間	-百万円
--------------	------------	------	------------	------

(注) 1. 当社は、2023年9月期中間期については、中間財務諸表を作成していないため、2024年9月期中間期の対前年同期増減率は記載しておりません。

2. 当社は、2024年4月24日付で株式1株につき20株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり中間純利益を算定しております。

3. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	624	213	34.2
2024年9月期	639	216	33.9

(参考) 自己資本	2025年9月期中間	213百万円	2024年9月期	216百万円
-----------	------------	--------	----------	--------

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	0.00	7.20	7.20
2025年9月期	0.00		
2025年9月期（予想）		-	

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定になります。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	514	9.9	50	107.9	50	144.5	35	131.1	50.90

(注) 1 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年9月期中間期	700,000株	2024年9月期	700,000株
-------------	----------	----------	----------

② 期末自己株式数

2025年9月期中間期	-株	2024年9月期	-株
-------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年9月期中間期	700,000株	2024年9月期中間期	700,000株
-------------	----------	-------------	----------

(注) 1. 当社は、2024年4月24日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信（添付資料）2ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) 中間キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善により経済活動が活発化する一方で、原材料価格の高騰や物価の上昇、不安定な為替相場など依然として先行きの不透明な状況が続いております。

当社の事業を取り巻く環境は、ECでの購買はコロナ特需が落ち着き実店舗回帰もありましたが利便性の高さから定着に向かい、成長は鈍化するものの堅調に拡大を続けると予測されており、ECでの購買は増加するものと見込んでおります。株式会社富士経済が公表した「通販・e-コマースビジネスの実態と今後2024」によれば、2023年のEC(物販)市場規模が14.1兆円であったことに対し、2024年の見込みは14.7兆円、2025年は15.3兆円と、着実に成長を続けていくことが予想されております。

このような状況下において、当社は「WITH THE BEST APPROACH」をミッションに掲げ、確実に成果の出るEC支援サービス及びD2C販売を提供しております。

EC支援サービスにおいては、前中間会計期間で発生した取引終了の影響により前年同期比よりも売上高は減少しておりますが、全体として安定した収益を確保しています。

D2C販売においては、既存のヨガウェア「LITHEE」の販売において、SNSを中心とした広告投資の強化を行いました計画した販売は実現できませんでした。今後は新しく開始したオフェスチェアブランド「Palmwork」の販売と合わせて、収益を確保してまいります。

これにより、EC支援サービスは売上高214百万円（前年同期比4.9%減）、D2C販売は20百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は235百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は0百万円（前年同期比99.3%減）、経常利益は3百万円（前年同期比87.1%減）、当期純利益は1百万円（前年同期比90.6%減）となりました。

なお、当社はECサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べ24百万円減少し581百万円となりました。これは主として、現金・預金の減少36百万円によるものです。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べ9百万円増加し43百万円となりました。これは主として、のれんの増加9百万円によるものです。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べ1百万円減少し347百万円となりました。これは主として、ショップ預り金の減少14百万円によるものです。

(固定負債)

当中間会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べ9百万円減少し63百万円となりました。これは長期借入金の減少9百万円によるものです。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ14百万円減少し624百万円となりました。これは主として剰余金の配当5百万円を支払った事等によるものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、478百万円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は10百万円となりました。これは主として、ショップ預り金の減少14百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は13百万円となりました。これは主として、事業譲受に伴う支出11百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は15百万円となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出9百万円によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2024年11月14日に公表した業績予想から変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	515,594	478,939
売掛金	50,654	50,135
商品	25,370	30,662
前渡金	692	10,616
前払費用	2,716	3,310
その他	10,585	7,413
流動資産合計	605,614	581,079
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	2,361	2,270
工具、器具及び備品(純額)	1,392	1,205
有形固定資産合計	3,754	3,475
無形固定資産		
のれん	6,000	15,633
商標権	992	935
ソフトウェア	4,115	4,761
無形固定資産合計	11,107	21,330
投資その他の資産		
投資有価証券	1,750	1,750
繰延税金資産	3,496	3,123
敷金及び保証金	13,279	13,424
投資その他の資産合計	18,526	18,298
固定資産合計	33,388	43,104
資産合計	639,002	624,184

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,492	25,718
一年以内返済予定の長期借入金	19,992	19,992
未払金	345	5,815
未払費用	10,626	14,777
未払法人税等	1,326	458
預り金	1,117	1,691
ショッピング預り金	285,741	271,382
賞与引当金	2,201	2,562
その他	5,933	5,100
流動負債合計	348,776	347,499
固定負債		
長期借入金	73,344	63,348
固定負債合計	73,344	63,348
負債合計	422,120	411,066
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,000	25,000
利益剰余金		
利益準備金	1,638	2,142
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	190,244	186,195
利益剰余金合計	191,882	188,337
株主資本合計	216,882	213,337
純資産合計	216,882	213,337
負債純資産合計	639,002	624,184

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	243,117	235,178
売上原価	115,583	116,641
売上総利益	127,534	118,537
販売費及び一般管理費	105,408	118,375
営業利益	22,125	161
営業外収益		
受取利息	201	1,185
為替差益	1,374	2,325
その他	3	1
営業外収益合計	1,578	3,512
営業外費用		
支払利息	-	592
雑損失	21	19
営業外費用合計	21	611
経常利益	23,683	3,062
特別損失		
固定資産除却損	-	735
特別損失合計	-	735
税引前中間純利益	23,683	2,326
法人税、住民税及び事業税	7,762	458
法人税等調整額	△62	373
法人税等合計	7,699	831
中間純利益	15,983	1,495

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間（自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本					純資産 合計
	資本金	利益剰余金			株主資本 合計	
		利益 準備金	その他利益剰 余金	利益剰余金 合計		
			繰越利益 剰余金			
当期首残高	25,000	1,134	180,373	181,507	206,507	206,507
当中間期変動額						
剰余金の配当			△5,040	△5,040	△5,040	△5,040
利益準備金の積立		504	△504	-	-	-
中間純利益			15,983	15,983	15,983	15,983
当中間期変動額合計	-	504	10,439	10,943	10,943	10,943
当中間期末残高	25,000	1,638	190,813	192,451	217,451	217,451

当中間会計期間（自 2024年10月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本					純資産 合計
	資本金	利益剰余金			株主資本 合計	
		利益 準備金	その他利益剰 余金	利益剰余金 合計		
			繰越利益 剰余金			
当期首残高	25,000	1,638	190,244	191,882	216,882	216,882
当中間期変動額						
剰余金の配当			△5,040	△5,040	△5,040	△5,040
利益準備金の積立		504	△504	-	-	-
中間純利益			1,495	1,495	1,495	1,495
当中間期変動額合計	-	504	△4,048	△3,544	△3,544	△3,544
当中間期末残高	25,000	2,142	186,195	188,337	213,337	213,337

(4) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	23,683	2,326
減価償却費	2,072	2,558
固定資産除却損	-	735
受取利息及び受取配当金	△201	△1,185
支払利息	-	592
為替差損益 (△は益)	△1,374	△2,325
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,454	518
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△655	△5,292
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,359	4,226
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,009	4,151
ショップ預り金の増減額 (△は減少)	△21,022	△14,358
その他	△4,229	△1,788
小計	△8,550	△9,841
利息の受取額	201	1,199
利息の支払額	-	△592
法人税等の支払額	△4,128	△1,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,477	△10,560
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	-	△2,238
事業譲受に伴う支出	-	△11,000
敷金及び保証金の差入による支出	-	△145
敷金及び保証金の返還による収入	50	-
出資金の返還による収入	50	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	100	△13,383
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	-	△9,996
配当金の支払額	△5,040	△5,040
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,040	△15,036
現金及び現金同等物の換算差額 (△は減少)	1,374	2,325
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,042	△36,654
現金及び現金同等物の期首残高	572,992	515,594
現金及び現金同等物の中間期末残高	556,949	478,939

(5) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はECサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(事業の譲受)

当社は、2025年4月21日開催の取締役会において、事業の譲受を行うことを決議し、以下のとおり事業譲受を行いました。

(1) 事業譲受の概要

①相手先企業の名称及びその事業の内容

相手先企業の名称 : 株式会社RERA WORKS

譲り受けた事業の内容 : 「N43°」の店舗運営・通信販売の酒類販売事業

②事業譲受を行った主な理由

「D2C販売」の強化

③事業譲受日

2025年4月24日

④事業譲受の方的形式

現金を対価とする事業譲受

(2) 事業譲受の取得対価及び種類ごとの内訳

相手先との協議により非開示とさせていただきます。

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 350千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

固定資産 7,616千円

資産合計 7,616千円